

## 編集後記

一橋大学大学院経済学研究科教育研究活動状況報告書は、経済学研究科および経済学部における教育・研究活動の状況を記録し、広く公開することを目的として、2年ごとに刊行されている。本報告書は第11号である。報告書の形式はほぼ定着しており、第1部では主として過去2年間の本研究科の組織としての活動について報告し、第2部では教員個人の活動について報告するという形式がとられている。本報告書でもこの形式を踏襲し、項目等も前回の報告書に合わせてある。本報告書の編集方針は、研究科長、評議員、評価委員会、編集スタッフから構成される編集会議において決定された。

第1部は、評価委員会(石川, 大月, 岡室, 川口, 竹内, 古沢)が分担して統括し、必要に応じてそれぞれの活動に関係した教員の方々に執筆、あるいは原稿内容の確認を依頼した。データの収集については、事務職員および助手の方々にも協力していただいた。第2部では、本研究科に所属する各教員の教育および研究活動の成果について報告されている。項目はこれまでに確立されたものを基本とし、個々の項目の内容は各教員に自由に書いていただいた。なお、本報告書におけるデータは、特に断り書きのない限り、2012年(平成24年)11月30日現在のものである。

情報の電子化の進展に伴い、第8号から本報告書はWEBで公開しており、本号については印刷製本は行わず、WEB公開のみとした。本報告書は、一橋大学大学院経済学研究科および経済学部における教育・研究の活動状況を網羅的に記述しており、継続的に刊行することが重要である。

最後に、本報告書の作成にあたってご協力をいただいた方々に、この場を借りて厚く御礼を申し上げたい。特に、執筆を快く引き受けていただいた教員の方々、業務多忙の中でデータの作成と提供をしていただいた教職員の方々、また、原稿の受付・編集・校正をはじめ様々な作業を円滑に進めていただいた助手の方々に感謝の意を表したい。

第1部執筆者 石川城太, 石村直之, 大月康弘, 岡室博之, 川口大司, 佐藤主光, 竹内幹,  
蓼沼宏一(研究科長), 古沢泰治, 山重慎二, 山下英俊, 山田裕理  
編集スタッフ 石川城太, 大月康弘, 岡室博之, 川口大司, 竹内幹, 古沢泰治,  
安齋壽美, 鈴木(岡田)信子, 福嶋依子

2013年3月

一橋大学大学院経済学研究科評価委員会委員長  
石川城太